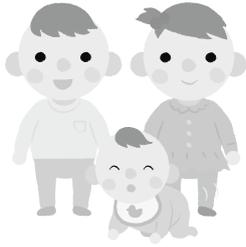


保健センターからののお知らせ

鴻巣保健センター(☎543-1561・FAX 543-5749) 吹上保健センター(☎548-6252・FAX 549-2696)

※鴻巣保健センターに車でお越しの方は、市役所駐車場をご利用ください



子どもの予防接種

接種は、委託医療機関(16ページの表)での個別接種です。市外での接種は、助成の対象とならない場合があります。詳細は市HPをご覧ください。

■ 定期予防接種

予防接種法に基づき、下表の予防接種を実施します。出生後・転入後に予防接種の案内を郵送します。対象の年齢・期間であれば無料で接種ができます。市から郵送された「予防接種と子どもの健康」や通知をよく読み、事前に医療機関に予約して受けてください。通知が届かない方や転入後、すぐに予防接種を希望する方、市外での接種を希望する方は、保健センターまでお問い合わせください。

予防接種の種類	対象年齢【標準的な接種期間・接種方法】
ロタリックス(1価)	生後6週～24週【2回】
ロタテック(5価)	生後6週～32週【3回】
ヒブ	生後2か月～5歳の誕生日前日
小児用肺炎球菌	【生後2か月～生後7か月・1～4回】
B型肝炎	1歳の誕生日前日【生後2か月～生後9か月・3回】
4種混合 (百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ)	生後3か月～7歳6か月になる前日 【4回】
BCG	1歳の誕生日前日【生後5か月～生後8か月・1回】
麻しん風しん混合(MR)	1期＝1～2歳の誕生日前日【1回】 2期＝平成28年4月2日～平成29年4月1日生まれ (小学校就学前1年間) 【令和5年3月31日までに1回】
水痘(水ぼうそう)	1～3歳の誕生日前日【2回】
日本脳炎	1期＝生後6か月～7歳6か月になる前日【3回】 2期＝9～13歳の誕生日前日【1回】
二種混合(破傷風・ジフテリア)	11～13歳の誕生日の前日【1回】
子宮頸がん	小学6年生～高校1年生相当の女子【3回】

■ 任意予防接種

保護者の希望により接種する予防接種です。市では、疾病予防と子育て支援を目的に、以下のとおり助成をしています。

予防接種の種類	対象年齢【助成回数】	費用
おたふくかぜ	1歳～小学校就学前【1回】	3,500円
不活化ポリオ	平成28年4月2日～平成29年4月1日生まれ 【令和5年3月31日までに1回】	5,000円



のお知らせ

●問い合わせ●

鴻巣保健センター ☎543-1561、FAX 543-5749
 吹上保健センター ☎548-6252、FAX 549-2696
 ※鴻巣保健センターに車でお越しの方は、市役所
 駐車場をご利用ください

📌 予防接種のご案内

接種は、委託医療機関（下表）での個別接種です。医療機関へ事前に予約し、医療機関・保健センターに備えの説明書をよく読んでから接種を受けてください。市外の医療機関は助成の対象とならない場合がありますので、事前にお問い合わせください。

高齢者の肺炎球菌（23価）

■定期予防接種

対象／①65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方（受診券を5月頃に郵送） ②60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器・ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある方（身体障害者手帳1級相当）はお問い合わせください
費用／2,500円（市内委託医療機関で接種した場合）
助成回数／1回※過去に受けた方は対象外
持ち物／受診券、健康保険証、対象②の方は身体障害者手帳

■市独自の助成で行う任意予防接種

対象／①接種当日に65歳以上 ②60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器・ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある方（身体障害者手帳1級相当）
費用／4,100円（市内委託医療機関で接種した場合）
助成回数／市の助成を受けたか否かに関わらず、2回目の接種まで。前回の接種から概ね5年以上の間隔をおく
持ち物／健康保険証、対象②の方は身体障害者手帳

帯状疱疹予防接種の一部助成

県内初!!

対象／50歳以上の方 **助成費用**／1回につき4,000円（市委託医療機関では接種費用から4,000円を引いた額が請求されます）
助成回数／生ワクチン1回又は不活化ワクチン2回
その他／北本市・桶川市・伊奈町の委託医療機関での接種も助成対象

■全ての予防接種を実施する市委託医療機関

医療機関名	電話番号
北 鴻 巣 ク リ ニ ッ ク	596-1423
河 野 小 児 科 医 院	541-0146
小 室 ク リ ニ ッ ク	541-0020
斎 藤 外 科 胃 腸 科 医 院	541-4345
は や し だ 産 婦 人 科	541-8000
吹 上 整 形 外 科 医 院	548-5211

■一部の予防接種を実施する市委託医療機関

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
★ 相 原 医 院	569-1951	サンプレッジクリニック鴻巣	540-0088	吹上共立診療所	548-3865
あおばクリニック	580-5670	清水こども医院	540-6360	ふたむら内科クリニック	540-6635
赤見台整形外科	595-1100	昭和クリニック	548-0025	プライムクリニック	543-8888
おおさきクリニック	580-7720	高橋胃腸科医院	542-5018	ヘリオス会病院	569-3111
大 塚 医 院	541-0932	たけうちクリニック	594-7701	ヘリオスクリニック	540-7320
こうのす共生病院	541-1131	田 嶋 医 院	548-6230	星 野 医 院	542-8911
鴻巣外科胃腸科	543-7770	多 島 小 児 科	548-3764	宮 坂 医 院	569-0100
鴻巣第一クリニック	542-5566	坪 山 整 形 外 科	548-0052	★村越外科胃腸科肛門科	548-0048
鴻北クリニック	595-3733	中 村 医 院	541-1331	山口内科クリニック	541-0215
★埼玉県済生会鴻巣病院	596-2221	仁 科 整 形 外 科	543-7099	山田ハートクリニック	540-4180
★埼玉脳神経外科病院	541-2800	ひまわりこどもクリニック	544-5600	湯本フラワー通りクリニック	595-1711
佐 野 医 院	541-2888	●平野産婦人科医院	548-4422	わたまくリニック	541-5756

★＝高齢者肺炎球菌予防接種のみ実施 ●＝子宮頸がん予防接種のみ実施





保健センターからの



はたち

20歳の歯科健診

実施期間 / 4月15日(金)～3月31日(金)
 ※休診日を除く
対象 / 健診当日に市内在住で、20歳の方(平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれ)
 ※年度内1人1回まで
費用 / 無料
持ち物 / 受診券(はがき)、健康保険証
 ※受診券は対象者に郵送します
申込み / 市HPに掲載の実施医療機関へ直接
問い合わせ / 鴻巣保健センター



40歳からの歯科健診

実施期間 / 3月31日(金)まで※休診日を除く
対象 / 健診当日に市内在住で、40歳以上の方(昭和58年4月1日以前生まれ)※年度内1人1回まで。治療中の方はご遠慮ください
費用 / 400円(受診時に医療機関窓口で支払い)
 ※生活保護世帯の方は受給者証持参で無料
その他 / 申込み時に実施医療機関一覧表を配布
申込み / 鴻巣・吹上保健センターへ電話、窓口又は電子申請
問い合わせ / 鴻巣保健センター



産婦健康診査費用の一部助成

問い合わせ / 吹上保健センター

市では、産後間もない時期のお母さんのからだところの状態を確認するため、4月から産婦健康診査費用の一部を助成します。対象者には、助成券を送付又は母子健康手帳と併せて配布します。
対象 / 市内在住で産後(流産・死産を含む)概ね1か月の方
助成金額・回数 / 上限5,000円(超えた分は自己負担)・1回
健診内容 / 基本的な産婦健康診査(問診、診察、体重・血圧測定、尿検査)、こころの健康チェック
その他 / 市委託医療機関以外で健診を受ける場合は、償還払い制度があります。定められた健診項目(こころの健康チェック含む)を実施していない場合は助成対象外となるため、必ず事前にお問い合わせください。



産後のメンタルヘルス

周産期(赤ちゃんが生まれる前後)は、女性にとって母親としての第一歩を歩み始める大切な時期であり、この時期のメンタルヘルス(心の健康)の問題は児童虐待や母親の自殺などの重大な要因になります。東京では2005年からの10年間に於ける母親の自殺数が、産科異常による妊産婦死亡率の2倍以上であったという衝撃的な結果もあります。特に産後は、ホルモンの劇的な低下、心身の疲労、育児不安などで精神的に不安定な状態にあるといわれ「マタニティブルース」や「産後うつ」などの症状が現れることがあります。

産後うつ病は、罹患率が約10%で産後3か月以内に発症することが多く、気分の落ち込みや楽しみの喪失、自責感や自己評価の低下等の症状が現れる疾患です。これに比べてマタニティブルースは、出産後の女性の30～50%が経験し、産後数日から2週間程度の内にちよつとした精神症状(ふいに涙が止まらなくなる、いらいらする、落ち込む等)が現れます。また、情緒が不安定になる、眠れない、集中力がなくなる、焦るような気分になる等の症状がでる人もいますが、大抵は一過性であり、産後10日程度で軽快します。マタニティブルースが1～2週間で治まるのに対し、産後うつ病の症状は2週間以上続きます。さらに、マタニティブルースがあった女性は、産後うつ病発症のリスクが高まるといわれています。

産後の気分の落ち込み等が強く長い場合やもともと精神科や心療内科に通院している人は要注意です。また、産後うつの発症には、うつ病の既往以外にパートナーのサポート不足等、育児環境要因による影響も大きいとされています。「産後の心の不調は生理的なものだから」と一人で抱え込まず、助産師や産婦人科医にご相談ください。市では、保健センターや子育て支援課に子育て世代・母子健康包括支援センターがあり、産後のメンタルヘルスに対しても取り組んでいます。産後ケア、新生児訪問などご自分に合ったサポートを上手に利用してください。

(鴻巣市医師会)

